

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社ROKI新工場建設	階数	地上1F
建設地	静岡県浜松市浜北区中瀬大平7676	構造	S造
用途地域	工業専地域、法第22条の指定区域	平均居住人員	45 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年10月14日
敷地面積	6,182 m ²	作成者	山戸 伸夫
建築面積	3,705 m ²	確認日	
延床面積	3,758 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。 ・静岡県浜松市に新築される工場である。 ・断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他 -
Q1 室内環境 ・リモコン等で照明制御が可能な計画とし、光環境向上に配慮している。	Q2 サービス性能 ・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。 ・高寿命な材料を使用し、建物の耐久性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・緑地や通路の空地を設けることにより、風の通り道を確保している。
LR1 エネルギー ・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・再利用可能なユニット部材を採用することにより、非再生性資源の使用量削減に配慮している。 ・主要水栓は節水器具とし、節水便器を使用する等水資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 ・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。 ・駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)株式会社ROKI新工場建設工事	BEE	1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度								
重点項目	得点 [*] /満点	取組み度	評価					
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.6	/5				ふつう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.1	/5				ふつう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5				がんばろう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5				がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上		ふつう 3 点以上		がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目						
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。								
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.6					
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ④耐用年数の長い内装・外装仕上げ材を使用している。 ④主要な用途上位3種において2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用である。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦断熱性能の高い躯体構成及び建築材を使用している。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪自動水栓に加えて節水型便器を採用している。 ⑫LGS工法、OAフロアの採用がある。 ⑬発泡系断熱材の採用はない。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑮高効率な設備機器の採用によるCO2の削減を図っている。 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能							
	Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 屋光利用設備							
	3.2 3.2.1 ③ 屋光制御							
	Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数							
	2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔							
2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								
2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔								
2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔								
2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔								
Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出								
3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上								
LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制								
2 ⑧ 自然エネルギー利用								
3 ⑨ 設備システムの高効率化								
4 4.1 ⑩ モニタリング								
4.2 ⑩ 運用管理体制								
LR-2 1 1.1 ⑪ 節水								
1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無								
1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無								
2 2.1 2.1.1 ⑫ 材料使用量の削減								
2.1.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用								
2.1.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用								
2.1.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用								
2.1.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材								
2.1.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み								
3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用								
3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤								
3.2.2 ⑬ 断熱材								
3.2.3 ⑬ 冷媒								
LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮								
2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善								
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	3.1					
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑰耐震クラスはAクラスである。 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性							
	2.1.2 ⑯ 免震・制振性能							
2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備								
2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備								
2.4.3 ⑰ 電気設備								
2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法								
2.4.5 ⑰ 通信・情報設備								
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)					得点	2.5		
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑳将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画							
	3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり							
3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ								
Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上								
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.5					
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) 	Q-3 1 ⑳ 生物環境の保全と創出							
	2 ㉒ まちなみ景観への配慮							
	3 3.2 ㉓ 敷地内温熱環境の向上							
■敷地外環境対策 (㉔温熱環境悪化の改善)	LR-3 2 2.2 ㉔ 温熱環境悪化の改善							